

## 令和4年度 第6回吹田市政策調整会議概要

日 時：令和4年（2022年）12月27日（火）午後2時30分～午後3時15分

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

出席者：春藤副市長、辰谷副市長、小西総務部長、今峰行政経営部長

所 管：【学校教育部（保健給食室）】

山下部長、小西室長、西口参事、伊東主幹、松本主幹、杉村主査

案 件	市立小学校給食費の改定、市立小学校給食費の無償化及び市立中学校給食費の半額補助の実施について
担当及び関連部局	学校教育部（保健給食室）
<p>昨今の食材価格の高騰等を受け、令和5年（2023年）4月分から市立小学校給食費の改定を行うもの。</p> <p>また、子育て世帯の家計への負担軽減を図り、生活支援とするための緊急的な経済支援策として、令和5年度(2023年度)の市立小学校給食費の無償化及び市立中学校給食費の半額補助を実施しようとするもの。</p>	
<p>【所管部の考え方】</p> <p>市立小学校給食については、日本食品標準成分表改訂や学校給食摂取基準改正への対応を行ってきたが、様々な食材価格の高騰により、給食の栄養価等の質を維持することが困難となってきており、令和5年度4月分から給食費の改定を行おうとするもの。物価上昇による影響を補填することで、献立の水準を維持し、今後も引き続き、安全・安心で栄養バランスの取れた魅力ある給食を提供していく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、今般の物価高騰を受け、子育て世帯の家計への負担増に対する緊急的な経済支援策として、令和5年度に市立小学校給食費の無償化及び市立中学校給食費の半額補助を実施しようとするもの。</p>	
<p>【質疑概要】</p> <p>(1)小学校給食費の改定について</p> <p>質問： 今回の改定理由は、物価上昇の補填に加え、摂取基準の維持も含まれているのか。</p> <p>回答： お見込みのとおり。現在、割高の魚ではなく肉の使用を増やす等の対応により、摂取基準に見合った給食を提供しているが、現行給食費内で使用できる食材に限りがあり、多種多様な食材使用ができていない部分はある。</p> <p>質問： 給食費の値上げ幅を抑える工夫として、パンから米飯への置換えはできないのか。</p> <p>回答： 毎年秋頃、翌年度の精米及びパンの需要量について、大阪府学校給食会に報告していることから、年度途中で変更することは難しい。</p> <p>意見： 物価上昇だけでなく、献立内容の見直し・充実も含め、改定する金額の詳細を確認しながら進めていくべきでは。</p> <p>指示： 今回の給食費改定については、物価上昇への対応と、現行給食費では食材が限られることから、より適正な献立内容とするための対応と、二つの要素が含まれており、丁寧な説明を行っていくこと。</p>	

(2)小学校給食費の無償化及び中学校給食費の半額補助について

質問： 中学校給食費の半額補助の実施による喫食率の変化はどうか。

回答： 半額補助以前の喫食率は13%で、現在は20%程度となっている。

意見： 家計の厳しさを反映している数字と思われる。今後、可処分所得が上がれば、この問題は解決していくが、家計が苦しい現状としては、過渡期的に無償化と半額補助を行うべきと考える。

指示： 小学校給食費の改定、小学校給食費の無償化及び中学校給食費の半額補助の実施にあたっては、それぞれ丁寧な説明を行うこと。また、無償化及び半額補助の実施期間については、財源も踏まえ考えていくこと。

**【結果】**

本件は承認された。会議で出た意見、指示を踏まえて取組を進めること。